

授業科目の区分等：専門教育科目 医療コース

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	1	選択
担当教員			
下田 順子			
G (現代ビジネス学科)	S (専門科目)	MA (医療)	102 (基礎・入門科目)

授業のねらい (概要)	この授業では、DPに記載のある「専門的分野の学びを実務や社会で応用できる能力」を身につけます。具体的には、今日の医療機関において、事務担当者（医療事務従事者）にはたくさんの役割がありますが、それらの役割を理解するとともに、その中でも最も重要な役割の一つである「保険請求事務」に必要な知識と技能を身につけ、特に診療報酬点数の算定（費用の計算）を重点的に行います。最終的には、医科医療事務に関する資格試験の合格を目標とし、さらに同資格を取得することによって医療事務の分野における基礎的知識を身につけ、学んだことを実践できる能力を見つけていることをねらいとします。
授業計画	<p>第1回</p> <p>[遠隔]実務練習（医療機関・医療関連の法令について）</p> <p>予習（時間）：テキストの下読み（30分） 復習（時間）：ノートの整理（30分）</p> <p>第2回</p> <p>[遠隔]実務練習（医療保険制度・請求事務のしくみ） 課題（自宅で行う）：レポート集（学科問題）</p> <p>予習（時間）：テキストの下読み 疑問点の確認（30分） 復習（時間）：ノートの整理 計算方法の確認 課題の取組み（60分）</p> <p>第3回</p> <p>[遠隔]実務練習（初診料）</p> <p>予習（時間）：テキストの下読み 疑問点の確認（30分） 復習（時間）：ノートの整理 計算方法の確認 課題の見直し（60分）</p> <p>第4回</p> <p>[遠隔]実務練習（再診料・外来診療料）</p> <p>予習（時間）：テキストの下読み 疑問点の確認（30分） 復習（時間）：ノートの整理 計算方法の確認（30分）</p> <p>第5回</p> <p>まとめ①（再診料・外来診療料まで）</p> <p>予習（時間）：テキストの下読み 疑問点の確認（30分） 復習（時間）：ノートの整理 計算方法の確認（30分）</p> <p>第6回</p> <p>実務練習（医学管理等・在宅医療） 課題（自宅で行う）：レポート集（学科問題）</p> <p>予習（時間）：テキストの下読み 疑問点の確認（30分） 復習（時間）：ノートの整理 計算方法の確認 課題の取組み（60分）</p> <p>第7回</p> <p>実務練習（投薬料① 内服薬）</p> <p>予習（時間）：テキストの下読み 疑問点の確認（30分） 復習（時間）：ノートの整理 計算方法の確認 課題の見直し（60分）</p> <p>第8回</p> <p>実務練習（投薬料② 頓服薬・外用薬）</p>

	<p>第9回 予習（時間）：テキストの下読み 疑問点の確認（30分） 復習（時間）：ノートの整理 計算方法の確認（60分）</p> <p>[課題]実務練習（投薬料③ 技術料・加算） 課題（自宅で行う）：レポート集（学科問題・実技問題）</p> <p>第10回 予習（時間）：テキストの下読み 疑問点の確認（30分） 復習（時間）：ノートの整理 計算方法の確認 課題の取組み（90分）</p> <p>実務練習（レポート集（実技問題）の解説）</p> <p>第11回 予習（時間）：テキストの下読み 疑問点の確認（30分） 復習（時間）：ノートの整理 計算方法の確認 課題の見直し（90分）</p> <p>実務練習（注射料① 静脈注射まで）</p> <p>第12回 予習（時間）：テキストの下読み 疑問点の確認（30分） 復習（時間）：ノートの整理 計算方法の確認（60分）</p> <p>[課題]実務練習（注射料② その他の注射・加算） 課題（自宅で行う）：レポート集（学科問題・実技問題）</p> <p>第13回 予習（時間）：テキストの下読み 疑問点の確認 （30分） 復習（時間）：ノートの整理 計算方法の確認 課題の取組み（90分）</p> <p>実務練習（処置料①）</p> <p>第14回 予習（時間）：テキストの下読み 疑問点の確認（30分） 復習（時間）：ノートの整理 計算方法の確認（30分）</p> <p>[課題]実務練習（処置料②・リハビリテーション料） 課題（自宅で行う）：レポート集（学科問題・実技問題）</p> <p>第15回 予習（時間）：テキストの下読み 疑問点の確認（30分） 復習（時間）：ノートの整理 計算方法の確認 課題の取組み（90分）</p> <p>実務練習実務練習（レポート集（実技問題）の解説）</p> <p>予習（時間）：テキストの下読み 疑問点の確認（30分） 復習（時間）：ノートの整理 計算方法の確認 課題の見直し（90分）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	基礎的知識を身に付けおり、学んだことを発信できる能力を身に付けている。 【身に付くスキル】 発信力・協働力
到達目標	医科医療事務に関する資格試験に合格するための基礎的知識である、算定能力（点数の計算）を身に付ける。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	小テストは、採点し返却します。学科の課題は、原則授業中に答合せ（学生に回答していただきます）の上提出、実技は提出されたものについて採点・添削し返却時に全体的な講評します。ただし、白紙に近い状態で提出されたものについては、評価を行いません。
履修上の注意	医療事務概論Ⅰ・Ⅱ、医療事務演習Ⅱ、レセプト演習とのセット履修とします。テキスト、電卓、筆記用具（蛍光ペン）は、毎回持参してください。 欠席すると、その回の内容を自力で補うのは非常に困難ですので、欠席は極力避けてください。授業中の私語、居眠り飲食（飴、ガムを含む）、無断での途中退室は厳禁です。 遅刻は原則として認めません（遅刻した日は記録上欠席の扱いとなります）。 授業は全講義座席指定。脱帽とします。 教科書については、第1回目の授業で説明します。
成績評価の方法・基準	学修意欲（授業態度を含む）を30%、課題提出（提出期限、得点）を20%、定期試験の得点を50%として、総合的に評価します。課題の未提出がある場合は、定期試験の得点から減点します。

教科書	書名：医科診療報酬点数早見表 出版社：医学通信社 価格：4800円 (株)ソラスト医科医療事務講座テキスト(8冊セット) 価格：約20000円 ※医療事務概論Ⅱ、医療事務演習Ⅰ・Ⅱ、レセプト演習と共通です。詳細は、第1回の授業中に説明します。
参考書・教材	
備考	演習科目 2020年度は、9,12,14回を課題研究として学修する。各回テキスト一式に含まれるレポート集の実技問題に取り組むものとする。また、15回については、事前にmellyで配信する課題に取り組むこととする。 「定期試験は、本学の感染状況への対応を踏まえて「最終レポート」で代替することがある。その場合には、速やかにmellyおよび授業で実施方法の詳細と評価基準を受講生に告知する。
教員との連絡方法	メール(アドレスは授業内で周知) またはmelly。